

## 国際交流の中期方針及び目標(2017-2020) 1/2

### 国際化の必要性と方針

- 国際社会は、急速なグローバル化に伴い、国境を越えた課題(グローバルイシュー)が顕在化している。そうした中、国際協力の必要性が唱道される一方で、自国中心主義の台頭も見られ、国際社会は従前にもまして複雑な様相を呈している。また、我国もその影響を免れることはできない。
  - 政府は、「経済財政運営と改革の基本方針について」(25年6月14日閣議決定)において、「意欲と能力に富む若者の留学環境の整備や大学の国際化によるグローバル化等に対応する人材力の強化や高度外国人材の活用、ガバナンスの強化による大学改革とその教育研究基盤の確立を通じた教育研究の活性化など、未来への飛躍を実現する人材の養成を行う。」とし、さらに「日本再興戦略」(25年6月14日閣議決定)において、グローバル化等に対応する人材力の強化の具体的方策を列挙している。
- 以上のようなことを踏まえ、本学の目的である「・・・広く高い教養と高度の専門的知識技能を教授研究し、人格の陶冶を図り、もって、・・・地域及び**世界の発展に貢献することのできる人物を育成**する」の達成のため、一層の国際化を推進する。このため、2016年度までの成果を踏まえ、次ページに示すとおり、各種施策を進めていく。

### 2016年度までの成果

本学では、国際交流を大きな柱とし、以下のような成果を収めてきた。

- 国際部の設置など、国際的な流動性の高まりに応えられる体制の構築
- 海外協定校の拡大
- 留学奨励奨学金の導入や留学プログラムの多様化による学生の学生が留学を実現できる教育プログラムの構築
- インバウンド、アウトバウンドの留学生数の増加。サマースクールの開設による、国際交流機会の増加

## 国際交流の中期方針及び目標(2017-2020) 2/2

項 目		平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
学生が留学を実現できる教育プログラムの構築 (アウトバウンドの強化)	目 標	50名	55名	60名	
	留学等機会の周知	留学説明会の強化: <b>国際部</b>			
	短期交換留学生度の創設	協定校との調整: <b>国際部</b>	プログラム開始 拡大: <b>国際部</b>		
	短期留学プログラムの多様化及び時機の検討	夏季留学プログラムの拡大: <b>国際部</b>			
		留学期間の複数・選択制の拡大: <b>国際部</b>			
	各種外部プログラムの活用	トビタテ留学JAPAN、香川県大学等魅力づくり補助金等: <b>国際部</b>			
受入れ留学生等の拡大 (インバウンドの強化)	目 標(正規生)	35名	40名	45名	
	サマープログラム	対象協定校の拡大: <b>国際部</b>	継 続		
DDプログラムの導入		大学間協定の締結・一部学部で実施	学部拡充を検討		
新規協定校の開拓		各学部等、 <b>国際部</b>			